

## これまでの須坂市災害対策本部の機能向上の取組み

須坂市役所庁舎は、災害時に災害対策本部として、情報の収集、支援活動や防災活動を行う防災拠点施設となるため、極めて重要な施設であることから、これまでも平成 18 年から 22 年にかけて耐震工事等を行ってきた。



- 1 市道をはさんで市役所に隣接する「須坂市防災活動センター」は、災害時等に使用する資機材や車両を置くための倉庫兼車庫並びに災害ボランティアの方々の拠点となる施設で、市の防災拠点のひとつとして平成 25 年 2 月に竣工した。



東日本大震災の被災地への職員派遣や物資搬送などの支援活動等を通じて、防災ボランティアの活動場所、拠点となる場所の必要性を痛感し、また、防災施設を市役所近辺に集中させ、災害時の迅速な対応を可能にするため、災害時に使用する防災用資機材やダンプやバックホーなどの車両の置き場を確保することとした。

非常時には、1 階車庫である程度の物資の集積と搬送作業もでき、2 階を災害ボランティアの事務、作業、会議、休憩場所として使用、通常時は地域住民を対象とした防災関連の会議室としても使用している。

- 2 市役所本庁舎に隣接する旧市民会館を取壊して設置した「多目的（防災）広場」は、災害発生時にあっては、本庁舎 3 階災害対策本部の機能が地震等により麻痺した際の、①本部設置場所、②応急救護場所、③各種災害の情報の収集・発信基地、④主たる避難場所を補完する避難所として活用するため、平成 20 年に竣工した。（平常時は、公用車等駐車場、各種イベントスペースとしても開放。）



多目的（防災）広場には、雨水貯留浸透施設、ステージ及びステージ床下倉庫（本部用テント等）、パーゴラ、防災（かまど）ベンチ、下水道接続マンホールトイレ、汲取り式マンホールトイレ、埋設型融雪機、備蓄倉庫・公衆用トイレ等が設けられている。



備蓄倉庫は、倉庫のほか、シャワー、洗濯機等を備えた現業職員休憩室、公衆用トイレとして多目的トイレ、男女各トイレ、屋外に電気自動車充電用の 200V 電源があり、公用車に使用している。

災害対策本部となる本庁舎には、停電時の非常用電源があるものの、これまで再生可能エネルギーの導入はされていなかった。

平成 27 年度に長野県グリーンニューディール基金事業を活用して両施設への太陽光発電施設が設置され、更なる機能の充実が期待される。